

2022年7月8日

豊橋信用金庫が、GHG排出量算定・可視化クラウドサービスを提供する ゼロボードとビジネスマッチング契約を締結。お客さまの脱炭素経営への支援を強化

豊橋信用金庫（理事長 山口 進、以下「当金庫」という。）は、2022年7月8日（金）、GHG 排出量算定・可視化クラウドサービス「zerobord」を提供する株式会社ゼロボード（代表取締役 渡慶次 道隆）と、お客さまの脱炭素経営への支援強化に向けて、ビジネスマッチング契約を締結いたしました。

2015年にパリで開催されたCOP21（第21回気候変動枠組条約締約国会議）以降、脱炭素に向けた流れが急激に高まっています。日本においても、政府の2050年「カーボンニュートラル宣言」以降、脱炭素化への対応がサプライチェーン全体に求められてきており、地元中小企業としても、自社のGHG排出量の算定など、従来にない新たな対応に迫られています。

当金庫では、こうした背景を踏まえ、地域金融機関として、お客さまの脱炭素化に向けた取組みの支援を強化することとしました。今後も、取引先の企業価値向上に取組むとともに、地域全体の持続可能な社会の実現に向けて取組んでまいります。

※GHGとは、Greenhouse Gas／温室効果ガスの略

GHG 排出量算定・可視化クラウドサービス「zerobord（ゼロボード）」について

「zerobord」は、企業活動によって排出されたCO₂を代表するGHG排出量について、国際基準であるGHGプロトコル（※1）に基づき、Scope1～3を算定・可視化できるクラウドサービスです（ISO14064-3（※2）に準拠した検証による）。専門的な知識を持たずとも、企業自身でGHG排出量の算定と可視化ができます。



【企業の脱炭素経営をサポートする機能】

1. サプライチェーンの排出量や商品別・サービス別の排出量の算定サービスの提供
2. 図や表を用いた視認性の高いダッシュボードによるGHG排出量のデータ表示
3. 国内の各種環境法令の報告形式にも対応したアウトプット

Scope1	自社の事業活動における直接的なGHG排出
Scope2	他社から供給された電気、熱・蒸気の使用により発生する間接的なGHG排出
Scope3	上記以外の事業活動に関わるサプライチェーンのGHG排出

※1 GHGプロトコルとは、温室効果ガスプロトコルイニシアチブの略。オープンで包括的なプロセスを通じて、国際的に認められたGHG排出量の算定と報告の基準を開発し、利用の促進を図ることを目的としています。

※2 国際標準化機構（ISO）が定めた GHG に関する主張の妥当性確認及び検証のための仕様・手引き

株式会社ゼロボードの概要

名 称	株式会社ゼロボード
所 在 地	東京都港区港南 2 丁目 15-1 品川インターシティ A 棟 22 階 SPROUND
代 表 者	渡慶次 道隆
事 業 内 容	GHG 排出量算定・可視化クラウドサービス「zeroboard」の開発・提供、電力・環境価値に関するコンサルティング、ブランディング・キャンペーン支援
設 立	2021 年 8 月
U R L	https://zeroboard.jp

【お問い合わせ先】

豊橋信用金庫 事業支援部（担当：西郷）

TEL：0532-57-7033 FAX：0532-57-7120